

籠球部 : 部報

著者	小田部, 善次郎
雑誌名	龍南
巻	2 2 4
ページ	8 7 - 8 8
発行年	1933-03-02
その他の言語のタイトル	籠球部 : 部報
URL	http://hdl.handle.net/2298/7120

健兒馬上の想ひ哉。

(昭八・二・九稿)

東京京都帝大主催インターハイ

東京文理科大学體育館にて本大會はその名に相應しく北は山形南は七高より參加して二拾七校に及ぶ(七月)

一回戰 對成城高校 49 — 16 負

成城は本大會の優勝校にて日本一の名あり六尺以上の身長ある者五人長身の如何に籠球に適するかを見た。

長崎醫大主催高専大會

醫大コートにて廣島高師、長崎藥專、長崎山口大分高商五高、福高の七校

一回戰 對廣島高師 25 — 22 勝

二回戰 對山口高商 48 — 26 負

山口高商は本大會に優勝せしは勿論であるが吾等は來年度には必ず山口高商を假定へ全國に一二位を争ふチームとは云へ必ず破ぶる事を誓ふ。

次に我が籠球部は『頑張り』をモットーとして練習に將又試合に勵むものである故に燃ゆるが如き闘争心と頑丈なる肉体の所有者の入部を希望する次第である。

(部長) 白川教授

籠球部

小田部 善次郎

籠球部本年度の主なる戰績を次に掲ぐ。

定期長崎醫大戰

全國大會にて準優勝に惜敗したる長崎醫大軍と本校コ

トにて戦ふ(五月)

38 — 33 負

福日主催高専大會

參加校は大阪高醫、高松、山口、大分、長崎高商、五高、

七高、福高、佐高で福岡中學體育館に會す(六月)

一回戰 對大分高商 45 — 26 勝

二回戰 對福高 31 — 28 勝

優勝戰 對山口高商 48 — 19 負

(部員) 石崎(り三) 有田(文二) 吉田(り二)

前田(り三) 太田(文二) 佐藤(り二)

古野(文二) 星野(り二) 深迫(り二)

松井(文二) 塚本(り一)

小田部(文二) 太田(り一)

市川(り二) 梶栗(り一)

土屋(り二) 國弘(り一)

總務部

一、總務部役員名

委員

文科總務委員 黒木 利克

幹事 吉村 榮三 持永 秋雄

村岡 一三 星野幸太郎

理科總務委員 齋藤 格

幹事 伊藤 蓮雄 内田 健一

武本 正義 村田 晨六
今村 勇

一、龍南會規則改正の件

龍南會規則第三條を左の通り改正しました、

第三條 宿泊科ハ各部共一日宛金二圓十錢トシ試合日數

ニ該當スル額ノミヲ支給ス

舊額は二圓五十錢でしたが之は大正十一年頃定めたと
ので今日では改正額で充分と認め且後述の如く收入減
の際ではありますし改正を行つた次第です。

一、昭和八年度龍南會豫算

收入之部

通常會員費	8925,000
新入生入會金	875,000
名譽會員費	700,000
預金利子	180,000
前年度繰越金	220,000
前年度遠征費繰越金	382,530
合 計	11282,530